

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る効果検証結果

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の目的	② 事業の内容	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
						指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	伊江村総合戦略策定事業	まち・ひと・しごと創生法に基づき、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、国の長期ビジョンや沖縄県の計画、本村の「伊江村第4次総合計画」などを勘案して、地域の実情に応じた今後5か年の施策の方向を提示する地方版総合戦略を策定する。	伊江村の人口維持による地域の活性化等を目標に、若年世代等の雇用の確保・創出、課題を整理するとともに、村民や地元企業、各種団体等の意向や意識調査などを通じて具体的な施策を展開する。	基礎交付	7,992,000	指標①	指標なし									
2	ユビキタスネットワークサービス事業	タブレット等の情報端末を利用する観光客が増加していることから、村で構築したユビキタスネットワークを活用し地域活性化及び観光振興に寄与することを目的とする。	観光客や民泊利用性に向けてインターネットサービスと地域ネットワークサービスを提供するため、民泊受入民家、宿泊施設、飲食店等に利用料の一部を補助する。	基礎交付	99,000	指標①	WiMAX端末利用者数	30,000	人	H28.3	25,867	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	・Wimaxのルーターの使用方法などの説明会を実施し、事業対象者が活用できるような環境にすることで、更に契約者の向上に繋がると思う。 ・民泊受入家庭では高齢の方も多いため、使い方や利便性を広める必要がある。	追加等更に発展させる	・契約者増加の方策を考える必要がある。(説明会等の実施) ・環境による回線速度の差があるための改善を行う。
3	地域認知向上PR及び特産品販路開拓支援事業	伊江村内で生産された原料を使用した加工品等の魅力を県内外へPRし、地域物産の情報を発信すると同時に地域認知度を向上を目的とする。	I 地域発信型映画制作企画 伊江村を舞台に、観光・物産・文化等のPRとなる短編映画を作成し、県内外への観光PRと伊江村の認知度向上に繋げる。 II 特産品販路開拓支援事業 県内外で開催される展示会や、即売会等で情報発信に努める。	基礎交付	5,440,000	指標①	イベント入場者数	50,000	人	H28.3	149,000	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・行政と事業所等の役割の明確化、PR方法の検討など中長期的視点で展開することにより、更なるPRや客数増加に繋がる。 ・映画に関して、村民向けに上映し、村民へのPRも必要(フェリー内で上映するなど)	事業の継続	・県内外でのイベントの際には、積極的にラム酒や特産品、更に農作物のPRを行い、6次産業の推進していく必要がある。
指標②	販路拡大に向け商談成立を目指す売上目標	3,000,000	円	H28.3	2,871,000											
4	循環型農業基盤強化事業	伊江村堆肥センターにて村内の枯木・剪定木等、資源を利用した木質チップや木炭の製造及び新製品の開発を行う。	伊江村堆肥センターにて村内の枯木・剪定木等で木炭を製造し、堆肥の新製品の開発のための資材と炭焼窯を購入し、木炭の試作を行う。	基礎交付	1,990,000	指標①	木炭、チップを製造既存の堆肥に製造した木炭やチップを混ぜて作成する新製品の開発	80	kg	H28.3	56	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	・木炭が堆肥作り(新商品開発)にどのような効果があるのか、費用対効果等の検証が不十分である。 ・村民がニーズ把握をされていない。	事業内容の見直し(改善)	・木炭のニーズと循環型農業との目的と手段の整合性が欠けているので、事業内容を改善し、今後は新商品開発に繋げるよう事業を執行する。
5	感染症対策事業	乳幼児と高齢者の定期予防接種及び全村民対象のインフルエンザ予防接種を助成し感染症対策を図る。	I 定期予防接種(乳幼児、児童生徒他) 四種混合、日本脳炎、ヒブ、肺炎球菌他(高齢者) 高齢者肺炎球菌ワクチン 定期インフルエンザ II 任意予防接種 インフルエンザワクチン(全村民対象)	基礎交付	8,764,000	指標①	予防接種受診者の増加を目指す目標	3,177	件	H28.3	3,071	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・働き世代(20~60歳)の予防接種率が悪く、その世代の呼び掛け等を行う必要がある。	事業の継続	・働き世代の予防接種向上の方策として、土日営業や、平日午後8時までといった運用を検討し、接種率の向上を図る必要がある。
6	少子化対策事業	伊江村の人口増加を促進するとともに、出産、育児における経済負担を軽減し少子化対策及び子育て世代の定住促進、人口維持を図る。	「伊江村子育て支援金に関する条例」に基づき、交付対象者へ第1子50,000円、第2子100,000円、第3子以降200,000円の助成を行う。	基礎交付	3,800,000	指標①	出生増を目指す	33	人	H28.3	39	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・平成27年度の出生数は39名とKPIを上回る実績であった。今後も引き続き実施し出生増を目指す。	事業の継続	・事業内容を村民に周知し、補助対象者に不備がないよう引き続き事業執行を行う。